冷和 4 年 10 月 21 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第41週(10月10日~10月16日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

今冬のインレドコンデ対策にしょう

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

<u> </u>	予売	<u> </u>	⊹区票		コロガント	中	n i
乜	大 行 行	定点当たり	(前週)	増減	Albap	7 1	<u>1</u>
_	感染性胃腸炎	2.06	(1.56)	ĸ	1	ĸ	←
2	手足口病	0.79	(1.65)	→	7	→	→
ო	ROクイラス感染点	0.76	(1.32)	→	→	7	→
4	突発性発しん	86.0	(0.29)	←	←	K	^
Ŋ	ヘシンドンギーナ	0.15	(0.35)	7	7	~	→

増減:過去5週間平均数と比べたとおの変化 予予急遇、予増加、すなな間に、→横ばい、となな減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し逃行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

す。奈良県では、感染防止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維持を目指していきたいと考えています。リスクの低い状況では多少リラックスするようにし、できるだけ日常生活を維持するようにしながらも、流行の再拡大を防ぐため、マスクの着用、確実な換気、共有物の消毒、混雑の回避 や、手洗いまたはアルコールによる手指消毒など、感染経路の遮断による基本的な感染防止策の徹底 第 11 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 2225 名と第 40 週の 1989 名より増加していま を改めてお願いいたします。

◆小冬のインフルエンが対策について◆

インフルエンザは、新型コロナウイルス流行開始以降、日本国内 が見られなかったオーストラリアでは、令和1年5月から6月にかけ の報告数が激減していましたが、過去二年間インフルエンザの流行 て報告数が急増しました。

エンザワクチンの接種を希望される方は、お早めに接種をお願いい 今後、日本でも、同様に流行する可能性がありますので、インフル

・インフルエンザワクチンは重症化予防などの効果がありますが、発

じる場合があります。かかかつけ医等と相談しの

、接種を検討いた 病を必ず、防ぐわけではなく、接種時の体調などによって副反応が生 だくようお願 します

・定期接種の開始日は自治体によって異なることがありますので、お 缶まいの市町村に「確認ください。

詳しくは 厚生労働省 IP:インフルエンザ(総合ページ)

https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/influenza.html 首相官邸 IP: インフルエンザ (季節性) 対策

季節性インフルエンザワクチンに関するお知らせ ー接種を希望される高部者のみなさぎへー 定組接種対象者(65億以上の方等) 4で、インフルエンザワクラ ● 計量のメーストランプには、変年よりも数グの耳ペイングドゴンから 関心が施設されています。インフルゴンがりかチンにはインフトゴンが の単様で発送く必要があります。 いの接種を希望される方は、お早めに接種をお願いします。

定理接種の開始日は、お任まいの市町村で異なりますのでご確認下さい。

を掘口ロナンムンスを発育が能力的終わり得けなる。 大人のの間はおきに、下毛・下間の阻害を整定などのの様本を確認さ度を決め個有が整いてきた。 労働に当たっては、治らかに必免労働国に労働諸等でに登録された他、予約を行譲し し来す。 インフルエンガログチンは単位でからなどの必要がある。から、後者を含め、 ないなど、、過速の公童などによって最近区が生いる場合があります。 第第十 事業しただくとともの、表面を行体能に関めたけいた単位は影響を取られる。 なり必要した事ま。

出典:厚生労働省IP

(https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekka ku-kansenshou01/d1/pamph1et221006_01.pdf)

奈良県感染症情報

/www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第42週(10月17日~10月23日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

令和 4 年 10 H 28 日(金) 発行

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

THE STATE OF THE S	급 #	→	1	→	1	→
H H	7 }	K	7	→	←	7
	7007	^	↑	→	7	^
	増成	1	7	→	1	1
奈良県	(前週)	(0.79)	(2.06)	(0.76)	(0.38)	(0.15)
KIR.	定点当たり	1.29	1.26	0.53	0.26	0.21
市市	大河口	手足口病	感染性胃腸炎	RS ウイルス感染品	突発性発しん	ヘレバンギーナ
<u>=</u>	坦	_	2	ო	4	2

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ◆◆急増、◆増加、3やな増加、→横ばい、とやな減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し進売 もも指行 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

水準で推移しています。奈良県では、感染防止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維持を目 第 42 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 2226 名と第 41 週の 2225 名から減少せず、高い 指していきたいと考えています。

県民のみなさまには、基本的な感染予防対策の徹底を改めてお願いいたします。

♦県内概況(その街の感染症)◆

はコクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスが原因の、口の中や手、足などの水ぶくれ(水疱性の 手足口病の報告数が増加しており、特に奈良市保健所管内からの報告数が多くなっています。手足口病 発疹)を主症状とする感染症です。予防接種がなく、予防法は手洗いをしっかり行うことです。流水、 石けんによる手洗いをしっかり行い、タオルやおもちゃの共用は避けるようにしましょう。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

手足口病が流行している。初発症状は発熱で、皮膚症状が無い症

感染性胃腸炎が少数例ある。コロナ検査の実施件数は少なくなっ た。 インレラエン 単陽性が 1 倒地した

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19陽性例は減少したが10代にまだ見られる。経過は軽症。 乳児の咳嗽例が増加、経過が重症・遷延する例はなかった。 感染性腸炎は減少。インフルエンザはまだない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19 感染症の流行は継続している。小児は比較的軽症で後

普通感冒が増加するうち、発熱・強い呼吸器症状遷延例ではヒトメダ ニューモウイルス陽性が多くみられる。

インレイエンザの流行もはにまっていない。 /ロウイルス等の胃腸炎は少ない。

屋外 幸飯を問わず、 マスク着用は原則不要です。 機本的な指数が製作メリハリをつけましょう。 機能の方に促り等、機能に行く等、機能シッシュ等や 人間みの中ではマスクを置面に対しましょう。 国内 原体が確保できる話を 国とんど行わない場合をのぞき、 マスクの新用をお願いします。 マスクの着用について マスタについては、場画に貼りた 画的な影響をお願います。 の理事的報告

出典:マスクの着用について (厚生労働省 IP) https://www.mrliw.go.jp/stf/seisakunitsuite /bunya/kansertaisaku_0001.html1640.pdf

- 86 -

令和4年11月4日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4

奈良県感染症情報

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第43週(10月24日~10月30日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えましょう

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

五年	d ₩	+	44	→	1	↑
- H	7 }	71	+	→	44	ĸ
がなって	4DOV	1	*			↑
	増減	1	↑	→	44	↑
奈良県	(凱通)	(1.26)	(1.29)	(0.53)	(0.03)	(0.26)
IN	定点当たり	1.44	1.15	0.56	0.29	0.26
序册令	大 百 日	感染性胃腸炎	手足口病	RS ウイルス感染点	0因頭絡部莫熱	突発性発しん
<u>=</u>	乜	_	2	m	4	Ŋ

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ←←急増 ←増加、14や付割れ、→横ばい、44なが減火 ←減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し逃行 もも指行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

す。奈良県では、感染防止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維持を目指していきたいと考 第 43 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 2698 名と第 42 週の 2226 名より増加していま 手洗いまたはアルコールによる手指消毒など、感染経路の遮断による基本的な感染防止策の徹底を改 えています。流行の再拡大を防ぐため、マスクの着用、確実な換気、共有物の消毒、混雑の回避や、 めてお願いいたします。発熱、倦怠感など少しでも体調が悪ければ外出を控えましょう。

◆新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えましょう◆

感染拡大が生じる可能性があることに加えて、季節性インフルエンザも 今年の冬は、新型コロナウイルス感染症について、今年の夏を上回る 流行し、より多数の発熱患者が同時に生じる可能性があります。

◎発熱外来にかかりづらくなる場合に備えましょう

・新型コロナワクチンの早めの接種をお願いします。

・65歳以上の方等の定期接種対象者で、くんられくずひかと 接種を希望される方は早めの接種をお願いします

・発熱等体調不良時に備えて、新型コロナ抗原定性検査キット

解験価値をならかいを準備しておきましょう。

感染拡大時の発熱など体調不良時の対応について

- ・重症化リスクの高い方(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦)は速や かに発熱外来を受診してください。小学生以下の子どもは、かめから け反をはじめ地域の小児科反などにご相談へださい。
- ・重症化リスクの低い方は、ごり身で新型コロナ抗原定性検査キットを JD、で後者し、陽性の場合、健康フォローアップセンターに道絡・登録をお願います。

詳しなま、厚生労働省 HP をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/lunya/kansentaisaku_00003.html 「新型コロナウイトス・季御性インファエンザの同時流行に備えた対応」

この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を **開節拡張的口などの連絡的** (1) * 無限が依欠かる間の信仰をご供給くたさい 発指などの体調不当単にそなえて、 単めに順入してお客定しよう 物質をは技術をデットを通びましょう 製製コロナワクチンの運動 amanatoryotycomessanata ・インフルエンザワクチンの語言 整備コロナ代信託の金数キット 高着機能達 CHARL TRANSPORTER CHARLOLD, あわせて確認しておきましょう 自が決闘した動闘コロケ が B

POTATA A LONG TO THE STATE OF T の 原生労働者 職 他の

Separaments attach (OLC) temponent binaring and constitution of antichaeth assets asset the constitution of antichaeth assets and constitution of antichaeth assets and antichaeth antichaeth assets and antichaeth assets a **「型コロナウイルスの重症化リスクの高い方** 単かりに配置外帯(persental を取扱してください。 Management Constitution Applications (persental productions) 小学生以下の子どもと保証者の方へ Deformation かかりつけ銀元に鑑賞へださい。 Street (1) 製造機関目などのに関係があい。 Date on the Control of the Control o MUNICIPALITY BERTAPOSTACIONES DE MESTRE SEL

Peters Alicense (C) TEXTRES (G) (G) (A | A | A | A)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite /bunya/kansentaisaku_00003.html

令和 4 年 11 月 11 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

https://www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第44週(10月31日~11月6

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

THE PERSON NAMED IN	do E	7	→	→	1	1	
1	7 1	↑	K	→	→	71	
건보기누	Anap	^	7	7	K	7	
	増減	1	1	7	1	7	
奈良県	(前通)	(1.44)	(1.15)	(0.56)	(0.06)	(026)	
NR	定点当たり	1.53	1.03	0.50	0.24	0.21	
予売	大 日 日	感染性胃腸炎	手足口病	RSウイルス感染品	ヘルパンギーナ	突発性発しん	
100	坦	_	2	m	4	Ŋ	

1類域:過去の適間平均数と比べたときの変化 予予急遇、予1節1、34なり節1、少様式1、4なり減少、予減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し指布 わむ消行 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 44 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 3225 名と第 43 週の 2698 名より増加しています。奈良県では、感染55止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維特を目指していきたいと考 えています。県民のみなさまには、基本的な感染予防対策の徹底を改めてお願いいたします。

◆県内概況(その街の感染류)◆

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、冬期にはノロウイルスが流行しま す。患者発生は、例年、12 月の中旬頃にピークとなる傾向があるため、注意が必要です。特に、トイ レの後、調理前、食事前には石けんと流水による手洗いを徹底しましょう。

●小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

手足口病は減少している。hMPV気管支炎例はあったが、RS感染 症はなかった。サルモネラ腸炎例があった。A 型インフルエンザが 複数何あった。

コロナ検査の陽性となる例が増加傾向にある。幸い多くの乳幼児 が軽症であった

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザ陽性例はまだわかた。hMP、RS 呼吸器感染がや COVID-19 陽性が小児で徐々に増加、急増という程ではない。 成人へ波及し家族内感染が見られる。症状は軽症経過の様子

于足口病は減少。感染性腸炎も減少。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19 感染者が増加してきている。併せて熱、咳の呼吸器患 インファエンザの小児での流行はないが、成人では散見されてい 者も増加、鑑別は検査だよりとなっている。

出典:厚生労働省IP 胃腸炎や手足口病が散発しているが、流行には至っていない。

冷和 1 年 11 月 18 日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第45週(11月 7日~ 11月 13日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

12月1日は「世界エイズデー」

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

李克	a ₩	1	++	↑	→	*
Ξä-E	7 }	1	K	→	++	7
그다	ALOP ALOP	^	1	7	++	44
	増減	1	1	→	++	44
奈良県	(頭順)	(1.53)	(1,03)	(09°0)	(0)	(DOO4)
IKIX	定点当たり	1.85	1.29	0.32	0.32	60'0
売	大河口 一	感染性胃腸炎	手足口病	RS ウイルス感染症	沙痘	インフルエンザ
E	白	_	2	ო	ო	5

増減:過去5週間平均数と比べたとおの変化 予予急遇、予増加、すなな間に、→横ばい、となな減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し流流 もも指行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

が県内で初めて検出されました。県民のみなさまには引き続き、「人と人との距離の確保」、「マスクの 増加傾向にあります。また、保健研究センターのゲノム解析の結果、オミクロン株の一種であるBQ.1.1 第45週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は3509名と5週連続で増加しており、全国的にも 着用」、「手洗いやアルコールによる手指衛生」、「換気」など、基本的な感染予防対策の徹底を改めて お願いいたします。新型コロナワクチンの早期の接種もご検討ください。

◆県内概況(その街の感染症)◆

いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡がります。基本的な感染予防対策や適度な湿 インフルエンザの報告教が増加しています。昨シーズンは、流行がなかったインフルエンザですが、 度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取も大切です



このまちで暮らしている。私もあなたも。12月1日は世界エイズデー

期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を切ぐことができ、HIVに感染して 体内のウイルス量が減少すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクが 治療法の進歩によりHV陽性者の予後が改善された結果、HIV陽性者は感染の早 いない人と同等の生活を送ることが期待できるようびがました。また、治療を継続して 人さく低下することも確認されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、孤立・孤独が他人事ではなくなってきたい V検査の受検促進や差別・偏見の解消等を図ることを目的として、12 月 1 日を中心に る検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、正しい知識の普及を通じて、日 ま、ひといでも多くの人がHIV/エイズのことを自分事として捉え、HIV/エイズに関す 世界各国でエイズに関する啓発活動を実施しています。

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/index.html API-Net ニイズ予防情報ネット

https://api-net.jfap.or.jp/index.html



CREEKS ADDRESS OF STREET CONTRACTOR OF STREET CONTR

令和4年11月25日(金)発行

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第46 週(11月14日~ 11月20日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

건지	2	_	4			
1年1年1日	Ĕ	7	44	Т	T	T
- A	d	↑	→	↑	7	→
はイト	100k	^	→	44	75	→
	増減	↑	→	44	7	→
奈良県	(前週)	(1.85)	(1.29)	(0.09)	(0.06)	(0.32)
Ŋĸ	定点当たり	1.53	0.50	0.22	0.15	0.12
市市	D D	感染性胃腸炎	手足口病	インフルエンザ	突発性発しん	RSセイラス製学品
<u></u>	坦	7	2	3	4	Ŋ

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ◆◆急増、◆増加、3や付増加、→横ばい、とやや減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し進売 かが流行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 46 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 4681 名と第 45 週の 3509 名より増加していま す。感染リスクの高い行動は控え、「マスクの着用」や「手洗い」、「3 签(密接・密集・密閉)回避、 「換気」など基本的な感染対策を徹底しましょう。

◆県内概況(その街の感染値)◆

インフルエンザの定点当たり報告数が増加しています。今年の冬は、新型コロナウイルス感染症と インフルエンザが同時に流行する可能性があります。新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン との同時接種は可能ですので、感染が拡大する前の接種をご検討ください。

小児科外来信報。

北部地区(田中小児科医院)

hMPV 感染症が保育園で続いている。検査キットが不足の為、確 インフルエンザ、手足口病はなかった。コロナの患者は増えて来 **に影響でやし、ない。** なる。

中部地区(国本内粒こどもクリニック)

発熱、感冒症状が増加。COVID-19 陽性も増加してきた。 家族内感染では全員に波及している例もあった。 感染性腸炎は減少。インファエンザはおうした。 hMP 様の例も増加、保育園で流行

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ウイルス陽性者も認められ、A 型インフルエンザの幼児もみられ 普通感冒も増加、遷延患者にはヒトメタニューモウイルス、ヒトライ COVID-19 陽性者が増加している。

/ロウイルス等胃腸炎の流行はない。 一旦落ち着いていた手足口 病が増加、咽頭症状が強い、特徴がある。



かしこく治して、明日につなぐ ~抗菌薬を上手に使って MR 対策~ https://amr.nogn.go.jp/information/campaign2022.html

- 88 -

令和4年12月2日(金)発行

20 30 4 4 30 30 4 4 30 30 4 6 7 5 7 5 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 奈良県感染症情報

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第47週(11月21日~ 11月27日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

オミクロン株対応ワクチンの接種について

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

## 	d ₩	ĸ	ĸ	1	1	→
Ä E	-	K	7	44	+	7
がなって	ALap	^	7	7	4	44
	増減	1	7	↑	+	K
奈良県	(前週)	(1.53)	(050)	(0.12)	(0.15)	(60°0)
₹R	定点当たり	1.65	0.76	0.44	0.32	0.15
币 小	大河 山	感染性胃腸炎	手足口病	RS ウイルス感染症	突発性発しん	水痘
<u></u>	坦	_	2	n	4	Ŋ

増減:過去5週間平均数と比べたとおの変化 予予急遇、予増加、すなな間に、→横ばい、となな減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し形命 もも指行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 47 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 5612 名と第 46 週の 4681 名より増加していま

- 流行の再拡大を防ぐため、寒い季節ですが、特に換気を心がけましょう!
- ・時間を決めて定期的に2方向の窓やドアを開けて換気を行いましょう・サーキュレーター等は、開けた窓やドアに向けて一方向で作動させましょう・換気扇がある場合、換気扇で排気し、反対側から外気を取り入れましょう

◆県内概況(その街の感染症)◆

ハンルエンザの報告は例年に比べると低い木準ですが、呼年や一峰年と比較すると増加しています。 県内でも今シーズン初のインフルエンザ集団感染が確認され、注意が必要です。

◆イミクロン株対応ワクチンの被補について◆

合和 1 年 (2022 年) 9 月 20 日から開始された、オミクロン株対応ワクチンの接種対象や接種を受ける方法 も年末に感染が拡大し、今年も現在、感染が拡大中ですので、心喘の 方のみだけではなく、若い方にもワクチン接種をおすすめします。 など、新型コロナワクチン接種の情報をお届けします。昨年や一昨年

◎梅蘭が承口ったる耶瑟

接種を行う期間は、令和1年9月20日から合和5年(2023年) 3月31日までです(この期間中に一回のみ)。

機種の対象 以下の両方を満たしている方

- 12歳以上の方で、少なくとも初回接種(1回目・2回目)が完了 している方。
- ・前回の接種から、3ヶ月以上が経過した方

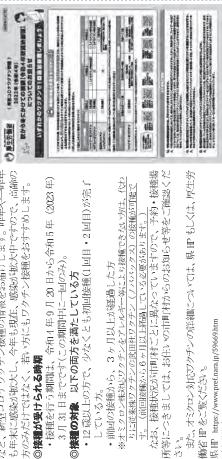
※オミクロン株対応ワクチンをアレルギー等により接種できない方は、代わ の接種が可能で (前回接種から6ヶ月以上経過している必要があります。 りに従来株ワクチ

また、オミクロン対応ワクチンの詳細については、県 IP もしくは、厚生労

働省 甲をご覧ください。

県田 https://www.pref.nara.jp/59669.htm

厚生労働省 HP https://www.mhhv.go.jp/stf/seisakunitsuite/lwnya/vaccine_autumm2022.htmll



令和 4 年 12 月 9 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第48 週(11月28日~ 12月4日)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

李	do E	7	→	1	44	1
THEFT.	7 1	←	7	4	→	
サンゼウ	400k	ĸ	7	7	K	+
	増減	ĸ	7	↑	44	K
佘艮県	(前週)	(1.65)	(0.76)	(0.44)	(0.03)	(0.09)
YIN	定点当たり	212	0.56	0.41	0.26	0.15
市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・市・		感染性胃腸炎	手足口病	RS ウイルス感染症	ヘレバンギーナ	1因頭 給 損 桑
<u>E</u>	乜	_	2	8	4	2

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ◆◆部第、◆増加、3を付割の、◆横ばい、¥やや減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し派売 かや消行 派 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 48 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 6858 名と第 47 週の 5612 名より増加し、8 週連 続の増加となっています。発熱、倦怠感など少しでも体調が悪ければ外出を控えましょう。基本的な マスクを外しての大声での会話や長時間の同席など、3 つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)によ 感染防止策(マスク、換気、消毒、距離)を徹底し、ふだん一緒に生活していない人が集う環境での、 る感染リスクが高まるような状況では特に注意しましょう。

◆小児科外来情報◆

光部地区(田中小児粒配院)

乳幼児ではコロナ以外で、高熱と咳が遷延する幼児が見られる。 ウイルス感染症と思われるが確定診断ができていない。 COVID-19の陽性率が上昇している。特に、学童の。 ムソレラHンがは無やした。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19 陽性者が増加、小学生を中心に家族内感染も見ら

乳児でコロナ以外と思われるhVIP様の頻回の咳嗽の例がみら 症状は短期間の発熱で重症経過はない様子。

感染性腸炎は減少したが少しずん続いてみられる。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科

COVID-19の流行は続いている。1日目は高熱で、熱性けいれ ん併発例もみられる。

また、高熱・咳嗽の遷延例ではバラインフルエンザ3型が数例 ヘルパンギーナが散見され、一部保育所では流行している。 **演出された。 熱は5~7 日続いている。** インフルエンザは増加していない。

代を回指をう 飲食すると世は PASTONES FUNDES FUNDES (の)会長総はマスクを磐雨(オンサインのFURや影響出版を開から、 個外でも他後、他都を関ける! 0,11 人と会うと世は ・人と十分な影響を作う。 ・顕微している場所や観響 I

ゼロ密を目指そう! ~一つの密でも避けましょう~ https://www.mhlw.go.jp/stf/covid=19/kerkou-irycuscudan.html 金町内を回っ +シがらなるも (panethys) | 100mm

- 89 -

冷和 1 年 12 月 16 日 (金) 発行 201200 0 2000 0 2000 0 2000 0 2000 0 2000 0

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第49 週(12月5日~12月11日)

• 11 月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤脈性菌感染症)の状況) ノロウイルスに注意

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

THE PERSON NAMED IN	<u> </u>	→	ĸ	↑	↑	→
T#F	7 1	←	→	+	↑	44
ロロカノト	ALOD	K	↑	+	+	↑
	増減	ĸ	1	+	+	←
奈良県	(前週)	(2.12)	(0.56)	(0.15)	(0.06)	(0)
IĀIK	定点当たり	2.47	0.68	0.29	0.24	0.18
市	大河	感染性胃腸炎	手足口病	突発性発しん	A群溶連菌咽頭炎	インフルエンザ
E	垣	_	7	8	4	5

増減・過去も適間平均数と比べたときの変化 ←←急増 ←増加、14やや増加、→横ばい、24やが減少 →減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し指行 もも消化 発生状況:|

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

流行の拡大を防ぐため基本的な感染防止策を継続しましょう。 しゃべる時はマスクをずらさない、 外 第49週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は8618名と第48週の6858名より増加しています。 で近距離での飲食は顔が対面にならないようにする等、リスクの高い場所では特に注意しましょう。

◆県内概況(その他の感染症)◆

感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は昨年より低、状態で推移していますが、例年ではこれから流 行する季節に入ります。過去 10 年平均でも冬期が最も多い季節となっていますので、注意しましょ う。また、インフルエンザの報告も見られますので、注意が必要です。

◆ノロウイルスに注痕◆

食中虚は夏だけではありません。ウイルスによる食中毒が冬に多発しています。ノロウイルスによる感染 性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸 符で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。 健康な方は軽症 で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶっを 誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

年は特に乙注意!

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの 対症療法に限られます

従って、皆様の周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょ

③患者のふん便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、

下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をし

(1)食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。(2)下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。(3) 胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し感染を広げないようにしましょう。

しくは、厚生労働省 HP「ノロウイルスに関する Q&A」をご覧ください。 棋:https://www.nnhlw.go.jp/content/11130500/001004061.pdf 詳しくは、厚生労働省 HP 「ノロウイルスに関する Q&A」を ||| 典:https://www.nrhhw.go.jp/content/11130500/001005 ポスター:https://www.mrhw.go.jp/content/000888754.pdf

JUD978-3 378.A. Eks Att /ロウイルスによる食中毒は、 /ロウイルスによる食中毒は、 プロウイルスによると中国学派 ()原生给服品 Cent ADDA ADA 第27名人の (注: 1 第24の年の日本は、1243年 第2420年 (日本での日本には、1844年 日本での日本では、1844年 日本での日本では、1844年

奈良県感染症情報

/www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第50週(12月12日~12月18日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

金拉	d F	↑	→	↑	↑	→
D#L	i -	K	4	44	71	^
がなって	4roh	K	←	←	+	44
	増減	K	+	44	←	+
佘艮県	(前週)	(2.47)	(0.68)	(0.24)	(0.03)	(0.18)
YIN	定点当たり	2.68	1.35	0.29	0.29	0.24
手手	D D	感染性胃腸炎	手足口病	A群溶連當個頭炎	水痘	インフルエンザ
<u></u>	乜	_	2	3	m	5

館域:過去5週間平均数と比べたときの変化 ◆◆急亀、◆増加、3やや増加、→横ばい、とやや減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し進売 かが消化 近 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 50 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 10225 名と第 49 週の 8618 名より増加し、10 週連 続の増加となっています。感染リスクが高まる場面では特に注意して行動しましょ

◆県内概況(その街の懸染症)◆

手足口病は夏期に流行が見られる疾患ですが、今週は南部以外から報告があり、増加しました。 水痘 については定点報告で増加し、また入院例の報告もありました。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

原染リスクが高まる「5つの場面」

は、初期から手足に水疱を認める症例が多い。 学童のコロナ感染者が増加している。インフル 保育園で手足口病が再流行している。 エンザはなかった。

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O

保育園で hMPV 様の発熱患児が多く出てい るが、確定診断に至っていない。

COMPOSITIONS

STATE OF STA

4人では、大学のでは、100mmのでは

TADELTORN

中部地区(固本内容にどもクリニック)

熱程度であるが感染力は強い様子で家族内へ 小児コロナ陽性者が急増、症状は短期の高

感染性腸炎も流行中。手足口病も少しずつ特続。 イソレクエンずはまだならた

出典:内閣宣房新型コロナウイルス感染症対策 https://corona.go.jp/proposal/pul/5scenos.poster_20201211.pul

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19の流行が続いている。併せてパラインフルエンザ1型、3型やヒトライノウイルス、RSウ イルスもみられている。

胃腸炎も散見されるが、呼吸器感染症に併発していることが多い。 ヘルパンギーナや手足口病の小 ヒトメタニューモウイルスは減少。インフルエンザはまだ流行がはじまっていない。

次回週報(第51週)は、令和5年1月6日(金)に発行いたします。 **疝行も続いている。**

- 90 -

奈良県感染症情報

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第51週(12月19日~12月25日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

今冬のインフルエンザ総合対策について

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

加拉		++	→	44	↑	↑
- P	7 1	K	K	44	44	+
コなスト	400k	K	^	44	←	71
	増減	K	K	44	←	←
小区 温	(凱通)	(268)	(1.35)	(0.24)	(0.21)	(0.29)
λίζ	定点当たり	3.03	76.0	0.67	0.26	0.24
市市	大河口	感染性胃腸炎	手足口病	インフルエンザ	0因頭絡治膜熱	A群溶連菌咽頭炎
<u>=</u>	扫	_	2	8	4	Ŋ

(疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し逃ぶ かが流行 所 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

曾滅:過去5週間平均数と比べたときの変化 予予急増、予増加、3やな増加、→横ばい、4なな減少、→減少

第 51 週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は 11892 名と、第 50 週の 10225 名より増加しています。 基本的な感染予防対策を徹底することに加え、早期にオミクロン株対応ワクチンの接種を受けることなど、 感染坊上に向けた行動をお願いします。

◆⊪ 内 展 況 (本 の 街 の 駒 祭 備) ◆

小児では急性脈症、高齢の方や免疫力の低下している方では重症化することがあり注意が必要です。こま インフルエンザの報告が増加しており、特に郡山保健所管内で多く報告されています。なお、今シーズンに保健研究センターで実施した検査では、1 検体から VB(香港)型を検出しました。インフルエンザは、 めな手洗いや咳エチケット、規則正しい生活をこころがけ、感染予切に努めましょう。

◆今冬のインフルエンザ総合対策について◆

国全体で見ると、3年ぶりにインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。 新型コロナとインフルエンザの同時流行に注意が必要です。

適切なマスクの若脱、手指消毒、換気などの基本的な感染 日頃から体温や健康状態のセルフチェックを行いましょう。 対策を徹底しましょう。 【基本的/咸染刘策】

[予防接種]

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑 える効果や、重症化を予防する効果があり、特に自齢者や基礎 疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が向い方には 効果が高いと名えられます

発熱などの体調不良時に備えて、検査キッパや、解熱鎮痛 薬を早めに購入しておきましょう。

※新型コロナ抗原定性検査キッ・又は新型コロナ・インルニンザ同時検査キット

出典:享生労働省公式ポスター(享生労働省 HP) https://www.mhhv.go.jp/!umya/kenkou/kekkaku=kansenshou01/keihatu.html 参考: 令和4年度 - 今のインフルニンザ総合対策について(早生労働省 IP) https://ww.mhlw.go.jp/stf/index2022.html

| 次回遺報 (62 週・1 週合併) は、合和5年1月13日 (金) に発行・かします。

